

重点戦略

<重点戦略とは>

- ① 未来像を実現するために、とくに優先的に取り組むべき政策
- ② 「京都らしさ、独自性」といった都市特性や強みを生かす政策
- ③ 行政だけでなく、市民や企業と「共汗」して推進する政策
- ④ 単一分野だけでなく、複数の行政分野を「融合」した政策

市民ぐるみで、くらしやまちの変化を実現する
「低炭素・循環型まちづくり戦略」

京都の知恵や価値観を生かした
「新産業創造戦略」

ひとと公共交通を優先する
「歩いて楽しいまち・京都戦略」

夢と希望がもてる
「未来の担い手育成戦略」

歴史都市の品格と魅力が国内外のひとつと魅了する
「歴史・文化都市創生戦略」

子どもと親と地域の笑顔があふれる
「子どもを共に育む戦略」

魅力ある地域資源と既存の都市インフラを生かす
「個性と活力あふれるまちづくり戦略」

仕事と家庭、社会貢献が調和できる
「真のワーク・ライフ・バランス戦略」

世界が共感する
「旅の本質を追求する観光戦略」

だれもが参加したくなる
「地域コミュニティ活性化戦略」

安心・安全と生きがいを実感できる
「いのちとくらしを守る戦略」

市民ぐるみで、くらしやまちの変化を実現する 「低炭素・循環型まちづくり戦略」

基本的な考え方

資源・エネルギー多消費型から、低炭素・循環型の都市のあり方とくらし方へ転換し、温室効果ガスの大幅な排出削減を図る。

そのために、既存ストック^{*}の有効活用と低炭素と整合する望ましいストックの形成、公共交通を有効利用した歩いてくらせるコンパクトな都市づくり、緑と自然の育成と活用、再生可能エネルギーの拡大やリデュース（ごみの発生抑制）とリユース（資源の再使用）の推進によるごみの減量、伝統技術と先端の科学技術、歴史と文化を融合させた低炭素時代のものづくり産業の創出など、世界を牽引する取組を進める。

環境にやさしい都市づくり

- 既存ストックの有効活用と望ましいストックの形成
- 公共交通を有効利用した歩いてくらせるコンパクトな都市づくり
- 緑と自然の育成と活用



再生可能エネルギーの拡大、ごみ減量



低炭素時代のものづくり 産業の創出



低炭素・循環型の都市のあり方とくらし方への転換

温室効果ガスの大幅な排出削減

戦略を推進するうえでの役割分担^{*}

市民・団体	企業・事業者	行政
<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみでごみの減量・リサイクルを推進し、環境にやさしい取組を実践 公共交通を積極的に利用 使用する自動車を次世代自動車へ転換 緑の保全 地産地消の実践 環境にやさしい商品購入 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの積極活用 建築ストックの再生利用の取組 公共交通の利便性向上 社用車を次世代自動車へ転換 社屋などの建物の緑化 京都の伝統野菜の普及 環境に配慮した事業活動の実践 低炭素型の製品とサービスの生産システムへ転換 林業の活性化を通じた森林の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 市民・事業者・地域と連携したごみ減量・リサイクルの推進 既存の道路や公共施設などのストックを有効活用したまちづくりの推進 地下鉄、市バスなどを含めた公共交通ネットワークの利便性向上 電気自動車の充電インフラ等の整備 自然環境の保全 低炭素型産業の振興 環境教育と啓発の推進

* ストック：道路・港湾・住宅・公園・緑地・病院など、市民生活の基盤を表す。

* 戰略を推進するうえでの役割分担：他の主体も想定できるが、各戦略の表現を統一するため大きく3つに区分して表記

ひとと公共交通を優先する

「歩いて楽しいまち・京都戦略」

基本的な考え方

観光地や都心の交通渋滞を解消するとともに、市民や観光客による公共交通の利用増がさらなる利便性の向上を実現する好循環をつくり出すことで、過度なクルマ中心社会からの脱却を図り、低炭素型で、ひとと公共交通を優先する歩いて楽しいまち・京都をつくり上げる。

そのために、四条通や東大路通などにおける快適な歩行空間の確保や公共交通の優先化、モビリティ・マネジメント*を通じた歩いて樂しいくらしを大切にするライフスタイル（くらし方、生き方）への転換、既存公共交通の再編強化などを推進する。

既存公共交通の再編・強化

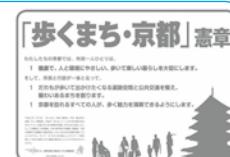


快適な歩行空間の確保、公共交通の優先化



脱クルマ中心社会

ライフスタイルの転換



交通渋滞の解消

公共交通の利用増

ひとと公共交通を優先する歩いて楽しいまち・京都

戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
<ul style="list-style-type: none"> 道路環境の美化（清掃や花壇づくりなど） 商店街など地域コミュニティの活性化によるにぎわいのある歩行空間の創出 ひとりひとりが歩くくらしを大切にし、マイカーから公共交通機関利用に交通行動スタイルを転換 自転車利用のマナー向上 	<ul style="list-style-type: none"> 交通手段の転換に伴う新たなビジネスの創出 事業者等の連携によりネットワークを構築し、公共交通の利便性を向上 市民目線に立った公共交通利用のための情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な歩行空間や自転車走行環境の整備 違法駐停車対策指導及び自転車マナーの啓発 市民の交通行動スタイルの転換を推進 公共交通ネットワークの利便性向上に向けた交通事業者への支援 地下鉄、市バスなどの利便性の向上

* モビリティ・マネジメント：「かしこいクルマの使い方」を考え、実践できるよう、交通機関のCO₂排出量比較などを盛り込んだ動機付け情報や公共交通利用促進マップ、交通行動に関するアンケートなどを活用したコミュニケーションを図り、自発的な交通行動の変化を促すこと。

歴史都市の品格と魅力が国内外のひとびとを魅了する

「歴史・文化都市創生戦略」

基本的な考え方

都市の品格と魅力を高め、世界中のひとびとを魅了し、愛されるまちであり続ける。

そのために、歴史の重層性を実感できる建造物や庭園などの多様な景観資産、自然景観と文化的資産が一体となった歴史的風土、日本を代表する伝統文化・芸術・すまいや生活の文化、高い感性と匠のわざを備えた伝統産業など、有形無形の京都の特性を守り、育てることはもちろん、創造的に活用する。さらに、広く国内外のひとびとに発信し、体感していただく。



景観資産

芸術



すまいや生活の文化

第34回京都ビッグバンドフェスティバル
京都府中学校吹奏楽連盟選抜バンド



有形無形の京都の特性

歴史的風土

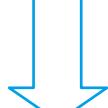
伝統産業

伝統文化



京都創生座第2回公演から
撮影：大島拓也

守り、育て、
創造的に活用



国内外のひとびとに
発信し、体感

都市の品格と魅力を高め、世界のひとびとを魅了し、愛されるまち

戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
<ul style="list-style-type: none"> 良好な景観形成に関する積極的な取組 地域の身近な環境整備 文化に親しみ、広げ伝える取組 新たな文化を創造するための取組 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な景観形成に関する積極的な取組 地域の景観向上に寄与する事業の推進 文化の継承や創造の支援 伝統文化や伝統産業、文化芸術を生かした事業展開 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な景観形成に関する施策の展開やさまざまな支援（制度面、財政面、教育等）の充実 市民との協働により、京都らしい景観を形成するためのしくみの充実 重要な歴史的・文化的資産の保存と活用 文化芸術の担い手の育成や多様な市民活動の支援

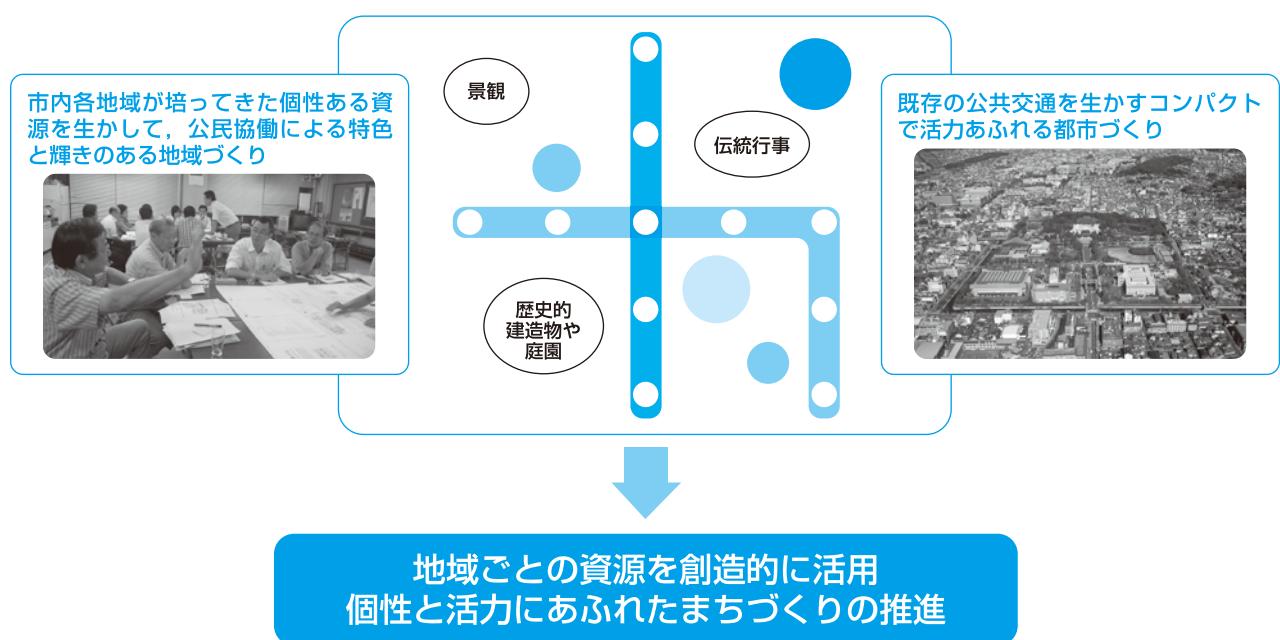
魅力ある地域資源と既存の都市インフラを生かす

「個性と活力あふれるまちづくり戦略」

基本的な考え方

京都のアイデンティティ*である歴史や文化の蓄積によって育まれてきた、地域ごとの資源を創造的に活用するとともに、既存の都市インフラを生かした、個性と活力にあふれたまちづくりを進める。

そのために、市内それぞれの地域が培ってきた歴史的建造物や庭園、伝統行事、景観といった個性ある資源を生かして、公民協働による特色と輝きのある地域づくりを行う。同時に、地下鉄沿線の岡崎地域や山ノ内浄水場跡地などといった大きな潜在力を有するエリアを活性化し、既存の公共交通を生かすコンパクトで活力あふれる都市づくりを進める。



戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力を向上するまちづくり活動の推進 地下鉄、市バスなど公共交通を積極的に活用する生活の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 地域特性に配慮した事業展開 地下鉄、市バスなど公共交通を有効に活用できるよう配慮した建設投資 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の自主的なまちづくり活動や魅力向上の支援 地下鉄、市バスなど公共交通を中心とした計画的な都市機能の配置・誘導 地域の核となる公共施設や公共空間の再整備

* アイデンティティ：都市を特徴付ける個性や独自性

世界が共感する

「旅の本質^{*}を追求する観光戦略」

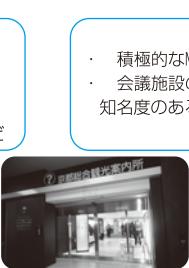
基本的な考え方

国内はもとより世界のひとびとが、旅の本質に触れ、思う存分堪能できる観光都市を実現するとともに、世界に冠たる国際MICE^{*}都市へと飛躍する。

そのために、滞在・宿泊型観光、歩く観光、ほんものとふれあう観光の充実や、新たな京都ファンづくり、観光客の安全確保などにより、観光客の満足度をより一層高める。また、市民自身が京都の奥深い魅力を知り、学び、楽しむことで、おもてなしの心を醸成し、京都観光の新たな主体として存在感を発揮する。これらにより観光スタイルの質と観光都市としての質を高める。また、積極的なMICEの誘致活動とともに、会議施設の拡充や世界的な知名度のあるホテル誘致などの受入環境の充実をオール京都で推進する。



- 滞在・宿泊型観光、歩く観光、ほんものとふれあう観光の充実
- 新たな京都ファンづくり
- 観光客の安全確保



- 積極的なMICEの誘致
- 会議施設の拡充や世界的な知名度のあるホテル誘致



世界に冠たる国際MICE都市

国内はもとより世界のひとびとが旅の本質を
思う存分堪能できる観光都市

戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
<ul style="list-style-type: none"> 歴史的な景観資産など京都がもつほんものの魅力の保全・活用・創造 京都の魅力を知り、学び、楽しむことを体験、実感 京都人としてのたしなみの習得 京都人としての誇りをもった観光客のもてなし MICEの主催者と関係するNPO、NGOとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> 滞在・宿泊型観光、歩く観光、ほんものとふれあう観光の推進 京都観光を第一線で支える立場でのもてなしやサービスの改善・向上 和の文化など京都がもつ資源の保護、活用、継承 MICE分野の人材育成及び積極的な誘致活動 	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる政策の融合によるまちづくりの推進 市民や行政などで構成する観光振興を目的とした会議の運営 観光客の受け入れにおいて市民が存在感を発揮できる環境づくり 京都への交通アクセスの利便性の向上 ウェブサイトの多言語化などによる情報発信手法の整備 京都の魅力をきめ細かに伝える効果的なプロモーション 会議場施設や宿泊施設などの受入環境の整備 海外を中心としたMICEの積極的な誘致活動

* 旅の本質：ひとに出会い、風景に出会い、心打たれる出来事に出会い、そして新たな自分自身に出会う。旅を通して、気付き、学び、癒され、元気をもらい、成長し、人生が深く、豊かになること。

* MICE（マイス）：企業のミーティング、企業研修旅行、国際会議、イベントなどの総称

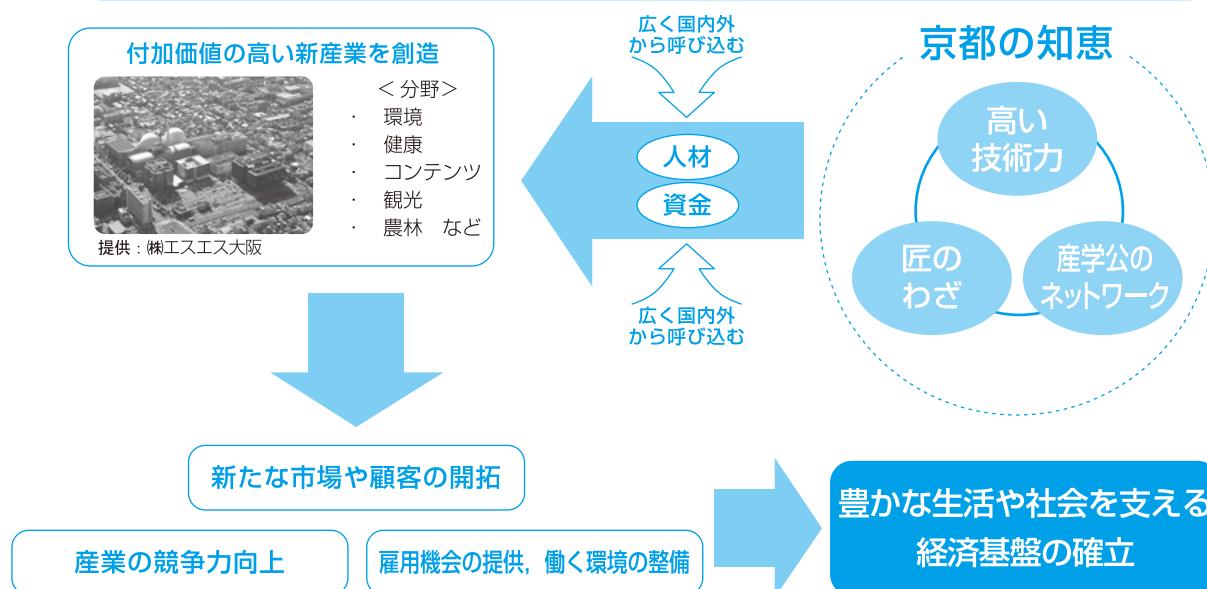
京都の知恵や価値観を生かした

「新産業創造戦略」

基本的な考え方

加速する国際化の中で新たな市場や顧客を開拓し、産業の競争力を高め、市民に多様な雇用の機会を提供し、やりがいをもって安心して働く環境を整えることで、豊かな生活や社会を支える経済基盤を確立する。

そのために、伝統産業から先端産業までの幅広い業種と、大企業から中小企業までの多様な規模の企業が立地する重層的な産業構造が有する高い技術力や匠のわざ、産学公のネットワークなどこれまで京都が築き上げてきたさまざまな知恵を融合し、広く国内外から人材や資金などを呼び込みながら、環境、健康、コンテンツ、観光、農林などの分野で、付加価値の高い新産業を創造する。



戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
<ul style="list-style-type: none"> 付加価値の高い京都のものづくり・サービスへの理解、市内需要の拡大の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 京都の多様な資源を生かした課題解決型、文化付加価値型等の新たな産業の創出と世界をも視野に入れた市場開拓 付加価値の高い新産業に適応できる国内外の人材の大学等での育成 知的財産の積極的な取得・活用 研究開発投資の充実 多様な雇用の機会の提供 芸術系大学等の研究成果を生かした新たな産業の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 産学公が結集した地域的・国際的視点に立つ研究プロジェクトの実施やプラットフォーム（基盤）及びネットワークの構築 中小・ベンチャー企業による新事業創出、第二創業への支援 物流などのための都市基盤の整備

夢と希望がもてる

「未来の担い手育成戦略」

基本的な考え方

若者が夢と希望をもち続け、いきいきと成長しながら京都への愛着を育める社会を築き、京都や国内外の社会に貢献できるよう、地域の担い手を育むとともに、国際的なビジネスリーダーやクリエイター（制作者、創造者）、さまざまな分野のオピニオンリーダー（世論形成者）といった次代を担うひとを育て、世界に輩出する。

そのために、世界有数の大学のまちであるという京都の強みを生かして学びの環境を充実するとともに、若者が住民自治の伝統が息づく地域の活動にかかわったり、京都の奥深い歴史に裏打ちされたほんものの文化に触れ、学び、身につけたり、新しいことにチャレンジする行動力や国際感覚を養うことができる機会を拡充する。

世界有数の大学のまちであるという京都の強みを生かして学びの環境を充実

ようこそアーティスト
文化芸術とくべつ授業



若者が新しいことに
チャレンジする行動
力や国際感覚を養う
ことができる機会を
拡充



地域の担い手、国際的なビジネスリーダー、
オピニオンリーダー（世論形成者）といった
次代を担うひとを育成



世界に輩出

戦略を推進するうえでの役割分担

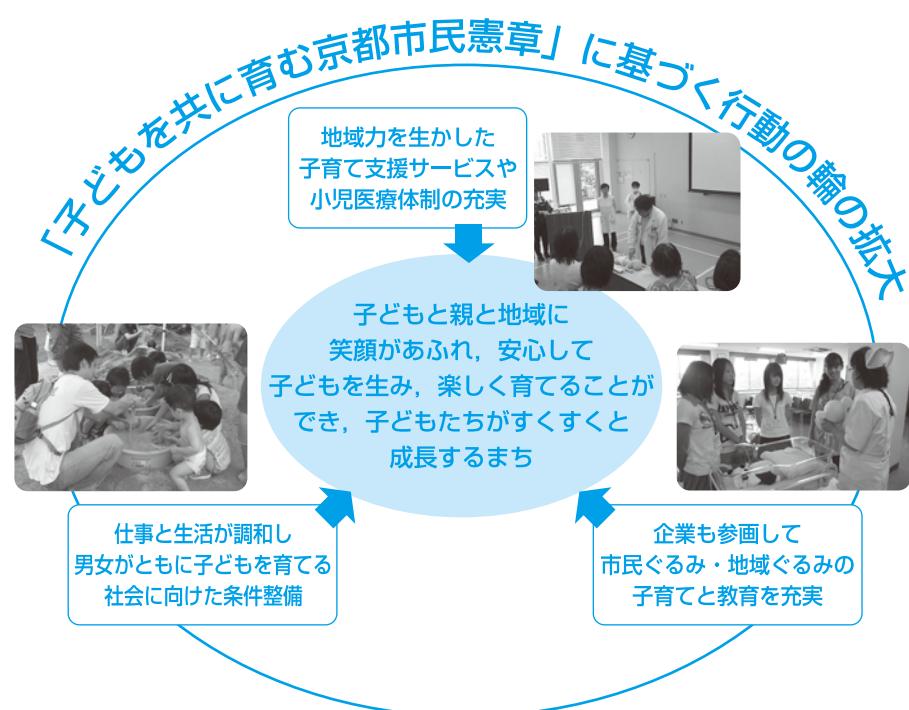
市民・団体	企業・事業者	行政
<ul style="list-style-type: none"> 学生の地域生活の多面的な支援 地域の諸活動への若者の参加を広げ、活動を通じて若者を育成 若者による主体的な学習 	<ul style="list-style-type: none"> 大学間連携の強化や地域に開かれた大学づくり 京都の強みを生かした新産業創造等による雇用の機会の提供 優秀な海外人材の積極的な受け入れ 人材育成に向けた大学と企業の連携 	<ul style="list-style-type: none"> 大学での先端の研究を小中学生に体験させるしくみづくりの推進 地域を学ぶ学習プログラムの充実 ほんものを実感できる地域づくりの支援 市立芸術大学の整備・改革 国際交流の多様なチャンネルの拡充 各種審議会等への若者の参加促進

子どもと親と地域の笑顔があふれる 「子どもを共に育む戦略」

基本的な考え方

子どもと親と地域に笑顔があふれ、安心して子どもを生み、楽しく育てることができ、子どもたちがすくすくと成長するまちづくりを進める。

そのために、社会全体で子どもを育むという「子どもを共に育む京都市民憲章」に基づく行動の輪を広げ、地域力を生かした子育て支援サービスや小児医療体制の充実、仕事と生活が調和し男女がともに子どもを育てる社会に向けた条件整備、健全な育成環境づくりに取り組み、企業も参画して市民ぐるみ・地域ぐるみの子育てと教育を充実する。



戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもを大切に育む ・ 子育てについての積極的な学習と実践 ・ 地域での子育て家庭の温かい見守りと支え合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）実現に向けた労働環境の整備 ・ 地域活動への参加と貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における子育て支援の拠点づくり ・ 子育て・ひとづくりの全市的なネットワークなどの連携づくりの支援 ・ 安心して子育てできる環境整備

仕事と家庭、社会貢献が調和できる

「真のワーク・ライフ・バランス戦略」

基本的な考え方

若者をはじめ、市民ひとりひとりが仕事や家庭生活、社会貢献などにおいて、生きがいと充実感を得て人生が送れる真のワーク・ライフ・バランスを定着させる。

そのために、だれもがともに能力を発揮できる労働環境の整備、子育てや介護などの負担軽減のための支援強化や男性の積極的な参加の促進、地域社会における活動に参加しやすい条件の整備、生涯を通じて学び続けられ、その学びを社会に還元することができる環境の整備などを行う。

だれもがともに能力を発揮できる労働環境の整備



子育てや介護などの負担軽減のための支援強化や男性の積極的な参加の促進



地域活動に参加しやすい条件整備、生涯学び続けられ、その学びを社会に還元することができる環境整備



家庭
仕事
社会貢献

真のワーク・ライフ・バランスの定着

戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
<ul style="list-style-type: none"> 男女が互いの能力を尊重 男性による育児や介護への積極的な参加 男女がともに地域活動や社会貢献活動へ参加 	<ul style="list-style-type: none"> 長時間労働の解消 非正規雇用者の就業環境の整備 男女雇用機会均等の促進 育児休業や介護休業などの制度の定着と利用促進 労働者の地域・社会貢献活動への参加の理解・支援 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用・労働環境の適正化 社会貢献活動の選択肢を拡大するための啓発・支援 子育てしながら働き続けられる条件の整備 高齢者の生活や介護等に関するサービスの充実、質的向上 地域活動に対する支援や情報提供の充実 意思決定の場に男女がともに参画できる条件の整備

だれもが参加したくなる

「地域コミュニティ活性化戦略」

基本的な考え方

市民のくらしの基盤であり、長年にわたり培われた住民自治の伝統や支え合いの精神が息づく町内会や自治会、学区、商店街など地域のコミュニティを活性化し、ひとつひと、ひとつ地域との絆や信頼を強め、自治力を高める。

そのために、だれもが地域活動に参加したくなるきっかけづくり、町内会・自治会等の地域コミュニティや市民活動団体と行政の連携のしくみづくり、地域における市民のさまざまな居場所や活躍の場づくりなどを進め、地域の自主的、自律的な地域運営を充実させる。こうした取組を行政が側面から支援し、地域の主体的なまちづくりを推進する。

地域の自主的、自立的な地域運営の充実

だれもが地域活動に参加したくなるきっかけづくり

地域コミュニティや市民活動団体と行政の連携のしくみづくり

地域におけるさまざまな居場所づくりや活躍の場づくり

側面から支援

行政



地域コミュニティの活性化

ひとつひと、ひとつ地域の絆や信頼を強め、自治力を高める

戦略を推進するうえでの役割分担

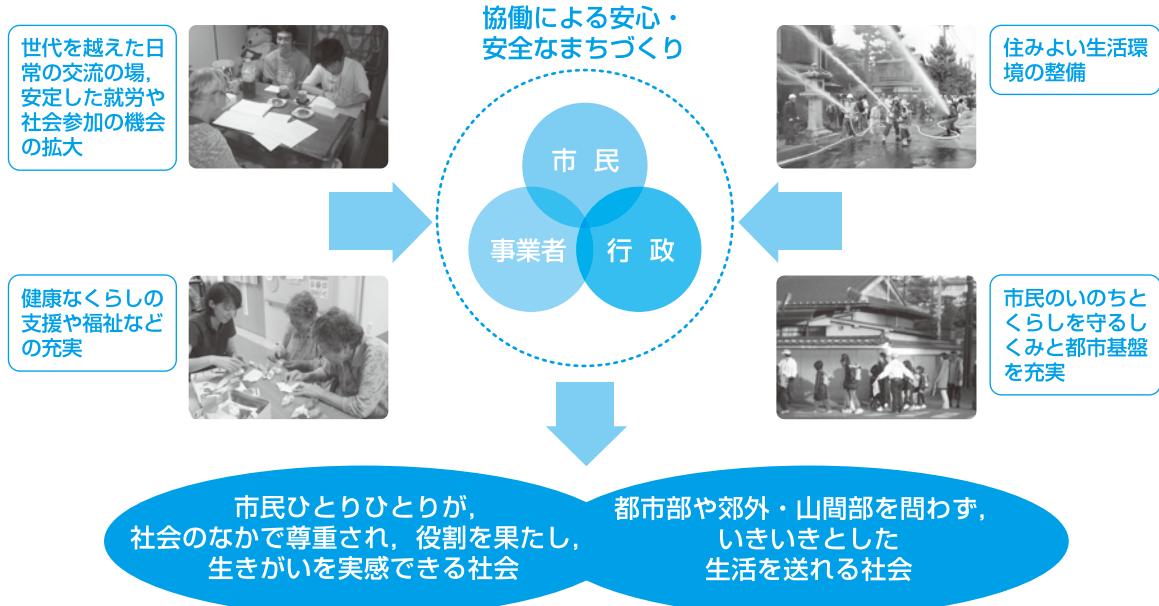
市民・団体	企業・事業者	行政
<ul style="list-style-type: none"> さまざまな団体が相互に連携しながら、地域活動を牽引 既存の組織に捉われず、世代を超えてだれもが参加しやすいしくみ、きっかけ、場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 地域への貢献は事業者の社会的役割と認識し、地域活動に参画 地域活動との積極的な連携や居場所の提供等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 市民のつながりをコーディネートする人的支援などの拡充 NPO・ボランティアなどの市民活動の拠点整備

安心・安全と生きがいを実感できる 「いのちとくらしを守る戦略」

基本的な考え方

子ども、高齢者、障害のあるひと、外国籍市民をはじめ市民ひとりひとりが、社会のなかで尊重され、役割を果たし、生きがいを実感できるとともに、都市部や郊外・山間部を問わず、いきいきとした生活を送れる社会を実現する。

そのために、世代を越えた日常の交流の場、安定した就労や社会参加の機会を広げるとともに、健康なくらしを実現するための支援、福祉、医療、生活衛生、児童虐待やDV^{*}対策の充実などを進める。また、ユニバーサルデザイン^{**}による住みよい生活環境の整備や、消防・防災、防犯等の分野で市民のいのちとくらしを守るしくみと都市基盤を充実するなど、市民、事業者、行政の協働による安心・安全なまちづくりを進める。



戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
<ul style="list-style-type: none"> 多様な自主的活動の推進と相互交流 地域課題に応じ安心・安全に関する横断的な取組と体制づくり 多種多様な生きがいづくり、楽しみながらの健康づくりの実践 市民ひとりひとりが互いを尊重し、認め合い支え合う生活 安心・安全な地域づくりをめざした自主的な取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 施設等を地域の活動拠点として提供 法令遵守の徹底、地域に開かれた事業展開 良質な福祉・医療サービス等の提供 市民、行政等との連携体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多様な取組の支援や活動の場づくり 安心・安全の体制の確保と都市基盤づくり 高齢者や障害のあるひとなどへの社会支援等の環境整備 地域や事業者等と連携し、情報の共有を図りながら、地域の自主的取組を支援

* DV（ドメスティック・バイオレンス）：配偶者・交際相手等からの暴力

** ユニバーサルデザイン：製品や施設等を、すべてのひとが利用しやすいデザインにすることをめざす考え方